

積極戦略 1 しごとで活力を「つくる」

効果検証を行う対象年度

当該基本目標で掲げる数値目標を記載(検証は5年後に行う。28年度の欄は、参考値として、直近で把握できる値を入力)している。

総合戦略で掲げる基本目標等をそのまま記載している。

検証シート (平成28年度)

〔基本目標〕 つくる

本市が直面している転出超過を解消していく上では、若い世代を中心に東京都や福岡県などへ向かう流れに歯止めをかけることが重要であり、そのためには、市域内に魅力的で安定した雇用の場を確保していかなければなりません。地域産業の競争力強化や新産業の創出、企業立地の推進などに取り組むことにより、新たな雇用の場が創出されるとともに、若い世代や潜在的な労働力である女性や高齢者などの活躍をあわせて推進することにより、地域における雇用機会の拡大にもつながります。そのような安定した雇用を生み出し、地域の活力を維持するまちの創造を目指し、しごとで活力を「つくる」取組を展開します。

〔基本的方向〕

生産性の向上や商品・サービス等の高付加価値化、国内外への販路拡大を図るため、新事業・新産業の創出や事業経営への支援、人材の確保などに取り組むほか、商業・サービス業、ものづくり産業、農林水産業など、それぞれの産業の活性化を図り、地域産業の競争力強化を進めます。また、若い世代の雇用拡大が期待される創業・第二創業への支援、企業立地の推進や、女性や高齢者等の活躍促進などに取り組む、若い世代をはじめとする雇用機会の拡大に努めます。

指標	基準値	目標値 (H31)	単位	参考値 (H28)	対目標値
事業所数	(H26) 28,317	29,500	事業所	28,317 *	—
従業者数	(H26) 278,415	283,000	人	278,415 *	—

注)*は、当該年度の実績値でなく、参考値を示している。(以下同じ。)

<概要>

(1) 評価 (KPI)

- A: 十分に達成されている
- B: 概ね達成されている
- C: あまり達成されていない
- : 未着手(次年度からの取組)

(2) 検証会議の意見

- A: 引き続き、現状の取組を推進すべきである
- B: 全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
- C: 取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

② 平成28年度までのKPIの進捗と評価を記載している。

〔主な施策及び重要業績評価指標〕

① 主な施策とそのKPIをそのまま記載している。

主な施策の名称	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (H31)	単位	実績値 (H28)	対目標値	評価 (H28)
(1) 地域産業の競争力強化(業種横断的取組)							
①新事業・新産業創出の支援	新たなビジネス展開に取り組む事業者数	(H26) 8	50	事業者 (5年間)	36	72.0%	A
主な取組内容	具体的な取組の内容 (平成28年度)						
健康・環境分野における企業間・産学間等の事業化支援	ビジネスモデルに資する取組等に対し助成するとともに、セミナーや専門家との個別相談会を開催したほか、マーケティング調査の支援を行った(国の地方創生加速化交付金を活用)。これらの支援の結果、「カラダの中から美しく」をコンセプトとした商品シリーズの創出や、医療・運動・栄養を核とした健康増進サービスを提供するメディカルフィットネスの創出などに繋がった。健康分野:会員10者増、助成4件。新事業展開分野(環境分野を含む):会員5者増、助成1件						
デザイン等のクリエイティブ産業の育成支援と集積促進	「かごしまデザインアワード」や人材育成セミナー等の開催などを通じて、デザイナー等の人材育成や製品等の競争力強化を図った(国の地方創生加速化交付金を活用)ほか、デザイン・コンテンツ業の企業立地にも取り組んだ。						
市が保有する統計・地理情報等のオープンデータ化の推進	28年7月から、本市ホームページにおいて公共施設の位置情報等のデータを公開開始した。(28年度末の公開データ数:58) 別事業のイベントの中で、オープンデータに関する講演会やアイデアコンテストを実施した。						

主な取組と平成28年度の取組状況を記載している。

KPIや具体的な取組の進捗を踏まえた施策全体の評価

施策の進捗等 (平成28年度まで)

KPIの進捗については、27年度21者、28年度15者で、単年度あたりの目標値(10者)に対し、順調に推移している。28年度の取組状況としては、クリエイティブ産業の育成支援に取り組むとともに、本市ホームページにおいて公共施設の位置情報等のデータを公開開始するなど、着実に取り組んでいる。

③ 平成28年度までの取組状況の総括を記載している。

今後の方向性(考え方)

企業間・産学間等の事業化支援やクリエイティブ産業の育成支援等についての取組を引き続き進めていく。オープンデータについては、公開するデータの充実を図るとともに、周知広報に努める。なお、施策を通じたビジネス創出の成果を測るための新たなKPIについても検討する。

④ 平成29年度以降の取組の方向性を記載している。

検証会議の意見

KPIについては、新事業・新産業創出の支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。なお、施策の推進にあたっては、コンテスト等で出された斬新なアイデアが実現に近づき、企業等への積極的なPRを図るとともに、商品化など支援した成果について、市民が触れることができる機会の創出を一層図っていただきたい。また、現在のKPIに加え、施策を通じての商品化や新ビジネス展開などの成果を測るためのKPIの追加についても、引き続き検討していただきたい。

A

⑤ 当該施策に対する検証会議の意見とその評価を記載している。